

夜の繁華街におけるクラスター対策（墨田区全域）案

資料1

現状

- 墨田区における新規陽性者数は、自肃要請が必要な人口十万人あたり2・5人／週（本区換算6・9人／週）を超えた。
- 宣言解除後、区内の新規陽性者33人のうち30歳代以下が23人を占め、多くが夜の街又は会食が関連している。
- PCR陽性率は、6月3日2・6%まで低下したが、7月13日現在2・5%と都平均6・2%より低い。

東京都の対策

1. 関係機関等との情報共有
 - 厚生労働省クラスター対策班が都庁に常駐
 - 都は、新宿区、豊島区と連絡会議を開催
2. 感染が発生した店舗の地区情報の活用
 - 東京版新型コロナ見守りサービス（都立施設でクラスターが発生した場合、利用者に通知）の運用
3. ガイドラインの策定とその実践促進
 - 事業者向け東京都感染拡大防止ガイドラインを策定
 - 感染防止徹底宣言ステッカーの交付
 - 事業者向け東京都感染拡大防止ガイドブックを作成中
4. 接待を伴うクラブ等の従業員に検査の受診勧奨
 - LINE相談ツール「東京都新型コロナ対策パーソナルサポート」のクラブ従業員・顧客向けアカウント開設
 - 新型コロナコールセンターに専用電話相談窓口を設置

墨田区の対策（案）

1. (仮)錦糸町リニア新型コロナ対策連絡会の設置
 - 墨田区商店街連合会、錦糸町商店街振興組合、墨田区食品衛生協会、錦糸町を元気にする会（楽天地、東武ホテル、テルミナ、丸井など）に参加を要請する。
2. 接触確認アプリ（COCOA）の活用
 - スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して通知し新型コロナ陽性者と接触した可能性について通知するアプリを区広報媒体で周知・積極的運用
3. 「新しい生活様式推進宣言店」ステッカーの普及
 - 建築物衛生法や食品衛生法に基づく立入検査等の機会に、ガイドラインに沿った取組を推奨
 - 「新しい生活様式推進宣言店ステッカー」を普及
4. 相談体制・集団検査
 - コールセンターが夜の街関係者の不安に対応
 - 陽性者が発生した店舗に対して集団検査

【参考】江東橋地区の接待を伴う飲食店の数 バー・キャバレー：384件、スナック117件（墨田区保健所調べ 令和2年7月6日現在）

夜の繁華街に関連する主な業種別感染拡大防止ガイドライン

資料2

共通の感染拡大防止策

- ・店内における対人距離の確保や人数の制限（できるだけ2m（最低1m））
- ・テープルやカウンターへのアクリル板やビニールカーテン等の設置
- ・客や従業員へのマスク（適宜フェイスシールド）などの着用
- ・店内の換気や消毒の徹底
- ・顧客の名簿管理、体調チェック

接待を伴う飲食店の 特徴的な防止策

- ・利用客の横に着いて一緒にカラオケやダンス等を行うなどの接客は、当面の間自粛。
- ・利用客の近距離で行うライブ、ダンス、ショー等は当面の間自粛。
- ・利用客同士のお酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けるよう注意喚起。

ライブハウスの 特徴的な防止策

- ・出演者（演奏者・歌唱者等）と観客の間の距離は、2m確保。できない場合は、飛沫が拡散しない対応（发声部を中心）に透明の遮蔽物を設ける等）を実施。
- ・頻度の声出しの禁止を促す。
- ・飛沫の過度な拡散を制御するため店内の音量を必要最小限に調整。
- ・多くの人を集めるイベントは、当面、中止又は延期。

ナイトクラブの 特徴的な防止策

- ・過度な大きさ・頻度の声出しの禁止を促す。
- ・飛沫の過度な拡散を制御するため店内の音量を必要最小限に調整。
- ・多くの人を集めるイベントは、当面、中止又は延期。

新型コロナウイルス感染症の発生状況 N=186

- ◆墨田区における新型コロナウイルス感染症の感染者は、7月13日まで累計186人。
- ◆7月13日時点の感染者の現況は、以下のとおり

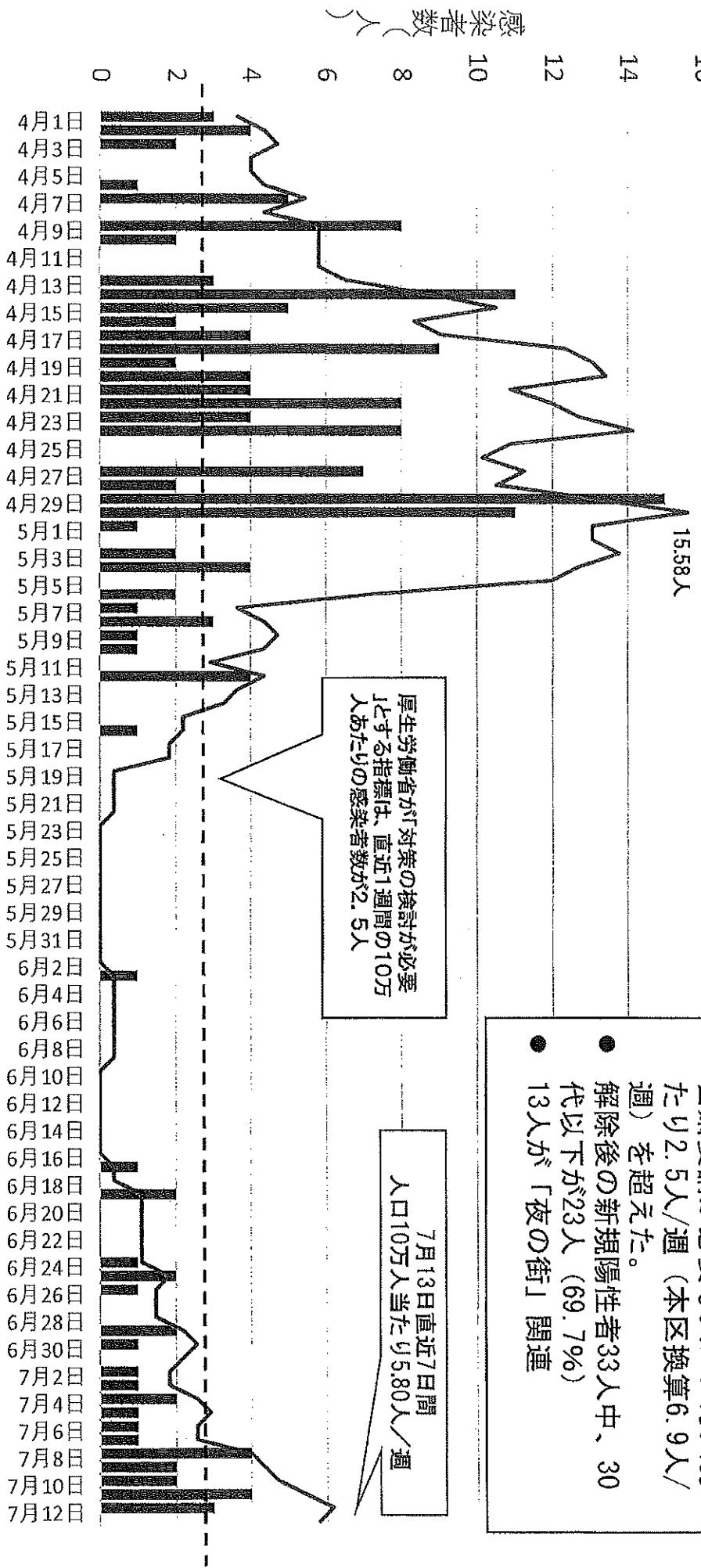
入院	宿泊療養	自宅療養	退院・治癒	死亡
29人	0人	1人	140人	16人

- ◆感染源（リンク）が不明な孤発例は55人（34.9%）
- ◆感染源（リンク）が判明した121人（65.1%）の内訳は、墨田区の山田記念病院の関係者36人、都立墨東病院11人、台東区の永寿総合病院9人など。
- ◆宣言解除（5月25日）後、7月13日までの新規感染者33人のうち、30代以下が23人（69.7%）。夜の繁華街又は会食が原因とみられる者は13人。

新規陽性者数の推移（墨田区居住者）

感染者の発生状況グラフ（4月1日から7月13日まで）

緊急事態宣言 4/7～5/25



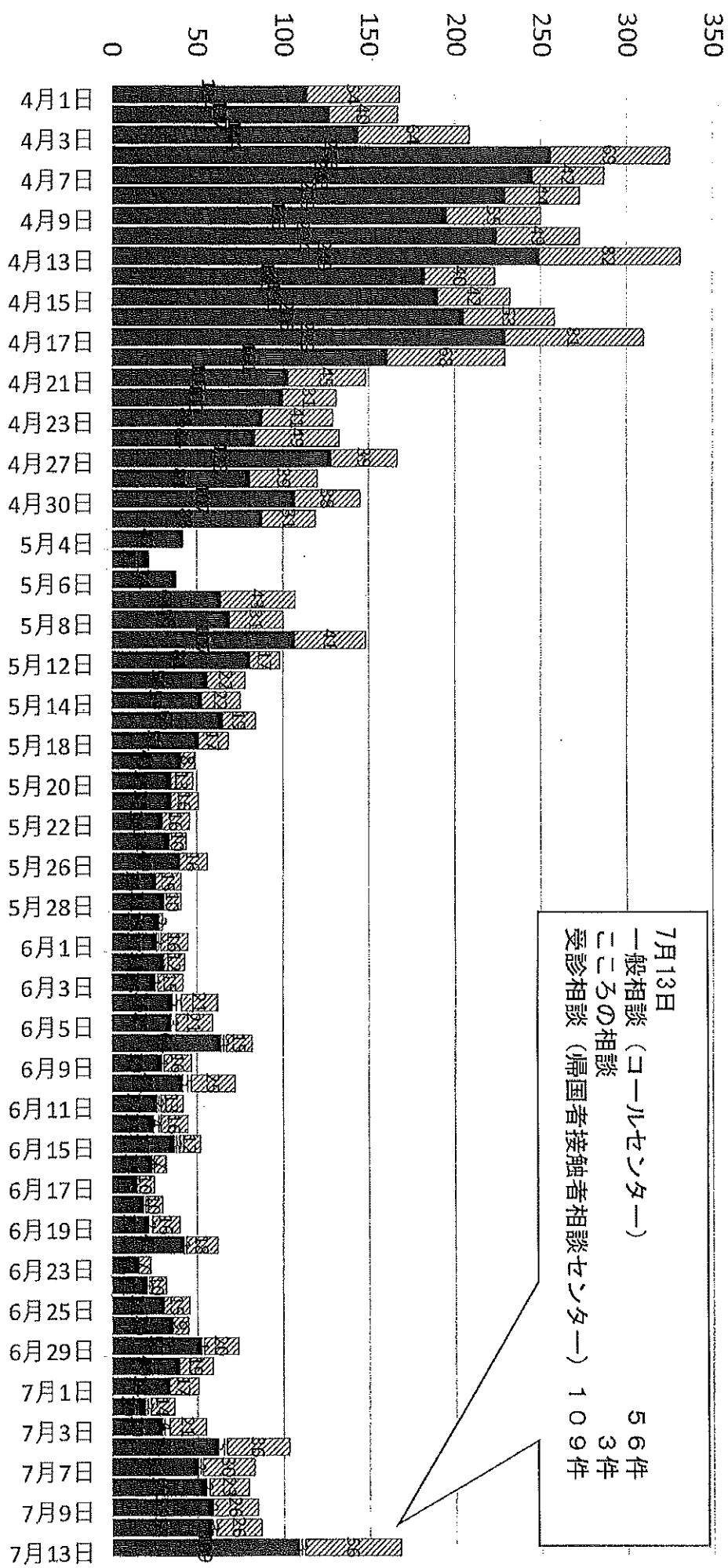
■陽性者数 一直近1週間の10万人あたり感染者数

新型コロナウイルス感染症に関する相談対応

- ◆墨田区では、帰国者・接触者電話相談センターを1月31日に開設。都区市合同の相談センターと合わせ24時間体制で対応。3月23日から一部業務（一般相談）を民間コールセンターに委託。帰国者接触者電話相談センターでは最大8回線、一般相談（民間委託）では2回線で対応
- ◆4月13日、1日あたり相談件数が最多の331件（同日の応需率92.2%《試算》）
- ◆6月1日、「新型コロナーーろの相談」を開始
- ◆7月13日までの相談受理件数は9,588件。内訳は、区直営（受診相談）が7,377件、民間コールセンター（一般相談）が2,153件、二二の相談が58件。

電話相談件数（土日祝除く）

緊急事態宣言 4/7～5/25



■ 帰国者・接触者相談センター 三こころの相談 ■ 一般相談（コールセンター）

PCR検査の実施状況

- ◆墨田区は、帰国者接觸者外来3施設とPCR検査センター（墨田区立新型コロナ外来）1施設で検査を実施
- ◆墨田区内で実施されたPCR検査は延5,035件
- ◆PCR検査の陽性率の移動平均は、直近で2.5%（7月7日から13日まで検査数408件中、陽性10件）

検査数（延）	陽性（+）	陰性（-）	陽性率
5,035	514	4,521	10.2%

PCR検査数と陽性率（墨田区内）

PCRの検査実績と陽性率（4月1日から7月13日まで）

350

300

250

PCR検査件数(件)

200

100

0

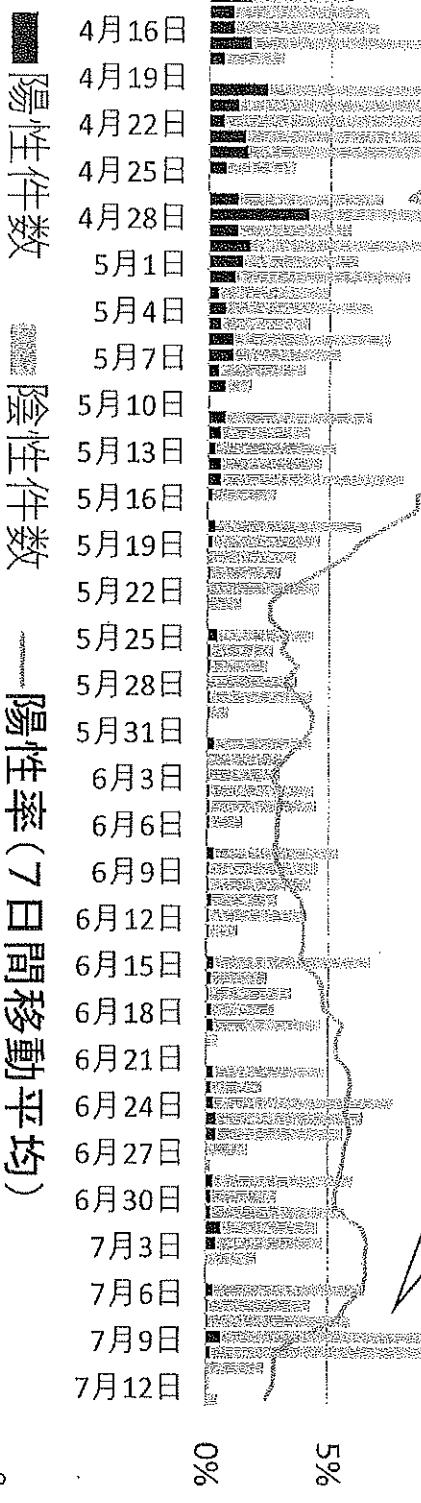
緊急事態宣言 4/7～5/25

35%
30%
25%

陽性率 (%)

20%
15%
10%

7月13日直近7日間の陽性率
移動平均 2.5%
(検査数408件中、陽性10件)



■陽性件数 ■陰性件数 —陽性率(7日間移動平均)